

日本鱗翅学会第 69 回大会（伊丹）のご案内

日本鱗翅学会第 69 回大会を下記の通り実施しますので、ご案内いたします。多数の参加申し込み、ありがとうございました。事前申し込みは 2023 年 9 月 30 日（土）までです。今大会では、事前の参加申し込みが必要です。申し込みなしでの当日参加は原則的にできません。

1. 大会会場・総会会場：東りいたみホール

〒664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前 1 丁目 1 - 3

阪急伊丹駅から徒歩約 3 分、JR 伊丹駅から徒歩約 8 分。会場への交通手段や案内地図は以下のウェブサイトをご覧ください。会場に駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。

<https://itami-cs.or.jp/itamihall/acces/map.html>

2. 日程

2023 年 10 月 21 日（土）～22 日（日）

21 日（土）午前：評議員会、午後：公開シンポジウム、一般講演、懇親会

22 日（日）一般講演、ポスター発表コアタイム、各種委員会、総会（各賞授賞式・受賞記念講演）、小集会

3. 主催・共催・後援

主催：日本鱗翅学会

共催：伊丹市昆虫館

後援：日本蛾類学会、大阪昆虫同好会、南大阪昆虫同好会、日本チョウ類保全協会、関西昆虫学研究会

4. ネームプレートと講演要旨集

今大会では、ネームプレートと講演要旨集を、お申し込みされた住所に前もってお送りします。大会に参加される際には、忘れずにご持参ください。

5. 参加費

大会参加費（正会員） 4,000 円

大会参加費（*若手、学生会員） 2,000 円

懇親会会費（正会員） 9,000 円

懇親会会費（*若手、学生会員） 5,000 円

要旨集のみ 2,000 円（送料込み）

*2023 年 1 月 1 日現在で 40 歳以下、または学生の本会会員

◆懇親会は、白雪ブルワリーレストラン長寿蔵 (<https://breweryrestaurant-chojukura.gorp.jp/>) で、立食形式・飲み放題で行います（大会会場から徒歩 5 分）。清酒発祥の地・伊丹にある、

醸造所が併設されたお酒の美味しいレストランです。

6-1. 一般講演について

一般講演は、質疑応答を含めて 15 分です。時間厳守をお願いします。標準文字サイズは 28 ポイントを推奨します。映写はご自身のパソコンをご利用になるか、事務局が用意したパソコン（Microsoft Power Point と Adobe Reader がインストールされた Windows PC）をご利用ください。事務局が用意したパソコンをご利用の場合、ウィルス感染防止のために、講演用ファイルは CD-R、またはウィルスに感染していないことを確認した USB メモリに保存してご持参ください。

6-2. ポスター発表について

ポスターボードのサイズは縦 240cm 横 90cm です。あまりギリギリにならないようなサイズのポスターを作ってください。ポスターをボードに貼る用具は大会で用意します。大会初日からポスターを貼ることができます。

6-3. 小集会について

- ・講演時間は大会事務局が設定した時間内で、小集会の企画者による割り振りをお願いします。
- ・使用するパソコンは小集会企画者側でご準備ください。

7. 大会実行委員会・問い合わせ先

大会会長：石井実 事務局長：竹内剛 会計：平井規央 会場：上田昇平、坂本昇 広報：那須義次、渡辺康之、八木孝司、中上喜史 プログラム作成：小林茂樹、松田真平 懇親会：林太郎、寺本憲之 委員：大島一正、小野克己、木村富至、江田慧子、近藤伸一、棚橋一郎、森地重博、吉安裕

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1 大阪公立大学大学院農学研究科環境動物昆虫学研究グループ

（問い合わせ全般）竹内剛・小林茂樹・平井規央

E-mail: gr-agri-LSJ69@omu.ac.jp

Tel: 072-254-9413

8. その他

・大会事務局での宿泊の斡旋は行いません。各自で早めのご手配をお願いします。会場に近い伊丹駅周辺では、少し離れていますが「ホテル伊丹」のみが利用できます。JR 尼崎駅近くの「ホテルヴィスキオ尼崎」も便利です。それ以外の場合は、伊丹空港周辺にもいくつかホテルはありますが、会場へのアクセスが良くありませんので、大阪市内で予約されることをお勧めします。

- ・会場は禁煙です。

- ・ 阪急伊丹駅方面に向かうと多数の飲食店があります。
- ・ 会期中と前日、翌日の 4 日間（10/20～10/23）、会費を支払った参加者に限り伊丹市昆虫館に 1 回入場できます。
- ・ 大会終了翌日の 10/23（月）に伊丹空港周辺でのシルビアシジミ観察会を予定しております（雨天中止）。参加をご希望の方は、7. の問い合わせ先にその旨連絡した上で、宿泊と日程の確保をお願いします。

大会プログラム

第1日目 10月21日(土)

10:30~12:30	評議員会 (3F 大会議室)	
12:30~	大会開場 シンポジウム一般受付開始 (6F 中ホール前ロビー)	
13:30~13:40	開会のあいさつ (A会場 6F 中ホール)	
13:40~16:10	公開シンポジウム (A会場 6F 中ホール)	
「鱗翅目の生態学と行動学」オーガナイザー：竹内 剛 (近畿)		
S101. 香取郁夫 (近畿大学) チョウの幼虫の角のはたらき		
S102. 大秦正揚 (京都先端科学大学) モンシロチョウ属の異種間配偶行動とその影響		
S103. 古川真莉子 (滋賀県大・環境) 繭の特徴の違いが命運を分ける:外来種ヒロヘリアオイラガと在来種イラガと天敵鳥類との関係		
S104. 高崎浩幸 (日本蝶類学会) 羽ばたき模型を用いたチョウの行動学的研究ことはじめ		
16:10~16:25	記念写真撮影 (6F 中ホール)	
16:30~17:30	一般講演 (A会場 6F 中ホール)	一般講演 (B会場 B1F 多目的ホール)
16:30~16:45	A101. ○井上大成 (関東/日本鱗翅学会将来問題検討委員会/森林総研多摩)・中村祥子 (森林総研多摩)・井上真理子 (森林総研多摩) 高等学校の生物部はどのくらい生き残っているのか?—東京都を例として—	B101. 森 正光 (北海道) ヒメヒカゲ属の裏面翅における眼状紋配列パターンは何を表しているか?
16:45~17:00	A102. 福田晴男 (関東) アルメニアのフタスジチョウについて	B102. 小田康弘 (関東/埼玉昆虫談話会) ウラギンヒョウモン2種♂の目視での判別について
17:00~17:15	A103. 竹内 剛 (近畿/大阪公大・農・昆虫) 9th Biology of Butterflies に参加して	B103. 鈴木 光 (九州) ヒメアカタテハ翅色変化の数値化
17:15~17:30	A104. ○本田計一 (西条生態研)・玉置高志 (東海)・中川智視 本州に生息する多化性テングチョウ—第2報	B104. 松田真平 (近畿) オキナワカラサアゲハのフリュストルファー記載時の顛末とタイプ標本
18:15~20:15	懇親会 (白雪ブルワリーレストラン長寿蔵)	

第2日目 10月22日(日)

9:30~11:00	一般講演 (A会場 6F 中ホール)	一般講演 (B会場 B1F 多目的ホール)
9:30~9:45	A201. ○林 太郎 1 (近畿)・堀川可央里 1・秋葉久子 1・井上 A. 尚 2,3 (関東)・舩原絹子 2・福田達哉 2 (1 日本の国蝶オオムラサキ研究所、2 東京都市大学理工学部自然科学学科、3 LLC Ace-Enterprise & Pretties) オオムラサキ幼虫の口臭による威嚇行動	B201. 小林茂樹 (近畿/大阪公大・農・昆虫) コナラ立ち枯れにわく小型ガ類
9:45~10:00	A202. ○金井賢一・守山泰司 (九州) トカラ列島のチョウ調査再開：セセリチョウに注目	B202. ○屋宜禎央・奥 尉平・広渡俊哉 (九大院・農・昆虫) 小笠原諸島で発見されたテリハハマボウを寄主とする <i>Bucculatrix</i> 属 (チビガ科) の1未記載種
10:00~10:15	A203. ○松井安俊 (関東)・星光流 多摩丘陵北部の蝶・最近10年の変化 (2)	B203. ○外村俊輔 (徳島県立博物館)・屋宜禎央 (九大院・農・昆虫)・広渡俊哉 (九大院・農・昆虫) 小笠原諸島のマルハキバガについて (キバガ上科：マルハキバガ科)
10:15~10:30	A204. ○石井 実・森地重博・竹内剛・上田昇平・池口直樹・Anja Sliwa・平井規央 (近畿) 大阪府北部鴻応山のギフチョウ個体群の生息状況	B204. 川島育海 (九州/九州大)・那須義次 (近畿/大阪公大) 西表島で発見された日本未記録属のヒメハマキガ亜科の一種について
10:30~10:45	A205. ○上田昇平 1,4・中筋千晶 2・中濱直之 3・竹内 剛 1,4・平井規央 1,4・石井 実 2,4 (1 大阪公大院・農、2 大阪府大院・生命、3 兵庫県大・自然・環境研究所、4 近畿) ギフチョウにおけるマイクロサテライトマーカーの開発と大阪個体群の遺伝的多様性	B205. 那須義次 (近畿) オジロモンヒメハマキ <i>Cephalophyes cyanura</i> に類似した <i>Statherotis</i> sp. (ハマキガ科、ヒメハマキガ亜科) の日本からの発見

10:45~11:00	A206. ○福田琳之介 1・上田昇平 1・矢後勝也 2・平井規央 1 (1 近畿・大阪公立大院、2 関東・東大総研博) ミトコンドリアおよびマイクロサテライト DNA マーカーによる絶滅危惧種ヒメシロチョウの集団遺伝構造解析	B206. 寺本憲之 (滋賀県大/琵琶湖博) オドリハマキモドキ (ハマキモドキガ科) とヒロバスゴモリキバガ (ホソキバガ科) の類似した幼虫シエルターの比較
11:00~11:30	ポスター発表 コアタイム (5F 会議室 2,3)	
<p>P-1 稲垣 健 (関東) モンシロチョウの卵の教材化を目指した取り組み</p> <p>P-2 天野綾也 (関東) 山梨県富士北麓地域の 2 箇所におけるヒメシロチョウのモニタリング調査</p> <p>P-3 ○山森菜緒・○山森菜那・○清原春奈・○矢野宗太郎・○大西希宝・八尾谷空哉・中村小春・乾 洗樹・白木原巧 (奈良県立磯城野高等学校・理科部 Flowers) バタフライガーデンの普及と福祉交流花壇化</p> <p>P-4 ○西 雅刀 1・乾 陽子 2・平井規央 1,3・上田昇平 1,3 (1 大阪公立大院・農、2 大阪教育大・教育、3 近畿) シジミチョウ科幼虫 5 種に対するハリブトシリアゲアリの随伴行動</p> <p>P-5 ○土居咲貴・上田昇平・平井規央 (近畿/大阪公立大院・農) マダラチョウ類の寄主植物利用とマダラヤドリバエの産卵植物の関係ー特にスジグロカバマダラに注目してー</p> <p>P-6 伊丹市みどり自然課 伊丹市昆陽池公園のチョウ調査</p> <p>SP-1 (特別展示) 伊丹市昆虫館 伊丹市昆虫館の活動紹介</p>		

11:00~11:30	将来計画特別委員会（3F 大会議室）（委員のみ）	
11:30~12:30	昼食	
11:30~12:20	自然保護委員会（公開、昼食持参可）（A会場 6F 中ホール）	
12:30~13:00	総会（A会場 6F 中ホール）	
13:00~14:10	授賞式（学会賞，奨励賞，フォトコンテスト）および受賞記念講演（A会場 6F 中ホール）	
第三回日本鱗翅学会賞および奨励賞受賞記念講演 学会賞 矢田 脩（九州） 「シロチョウ科の系統・分類学、比較形態学、保全生物学に関する研究」 熱帯アジアのチョウ類研究を振りかえる 奨励賞 小林茂樹（近畿） 「潜葉性小蛾類の種多様性に関する研究」		
14:20~15:50	小集会（A会場 6F 中ホール）	小集会（B会場 B1F 多目的ホール）
	WA-1 保全のシンボルとしての都道府県のチョウ3 ～最終章～ 世話人：矢後勝也・森地重博（LSJ 自然保護委員会） 1. 石井 実（近畿） 基調講演：保全のシンボルとしての都道府県のチョウ選定—どんな種を選ぶか？— 2. 森 一弘・島谷光二（北海道） 北海道地区の都道府県のチョウ選定候補について 3. 森地重博（近畿） 近畿地区の都道府県のチョウ選定候補について 4. 大西 剛・窪田聖一（四国） 四国地区の都道府県のチョウ選定候補について 5. 佐々木公隆（九州） 九州地区の都道府県のチョウ選定候補について 6. 矢後勝也（関東）	WB-1 第84回レピゼミ 世話人：那須義次（近畿） 1. 佐藤宏明・多部菜月（奈良女子大学理学部生物科学教室）クヌギキンモンホソガ種群の1新種と，同群の進化的歴史について 2. 阪上洗多（近畿） <i>Sorolopha sugiurai</i> Sakagami, 2023（ハマキガ科：ヒメハマキガ亜科）における特異的な分布とその要因 3. 小長谷達郎（奈良教育大学）チョウ類における卵巣凍結保存法とその応用を目指して 4. 〇朴 鎮亨 ¹ ・屋宜禎央 ² ・広渡俊哉 ² （ ¹ 九大院・生資環・昆虫、 ² 九大院・農・昆虫）小笠原諸島で確認された <i>Erechthias</i> 属の不明種について（チョウ目ヒロズゴガ科）

最新版：他地区の都道府県のチョウ
選定候補について

15:55

閉会（各会場）

16:00

終了